感染症ニュース！

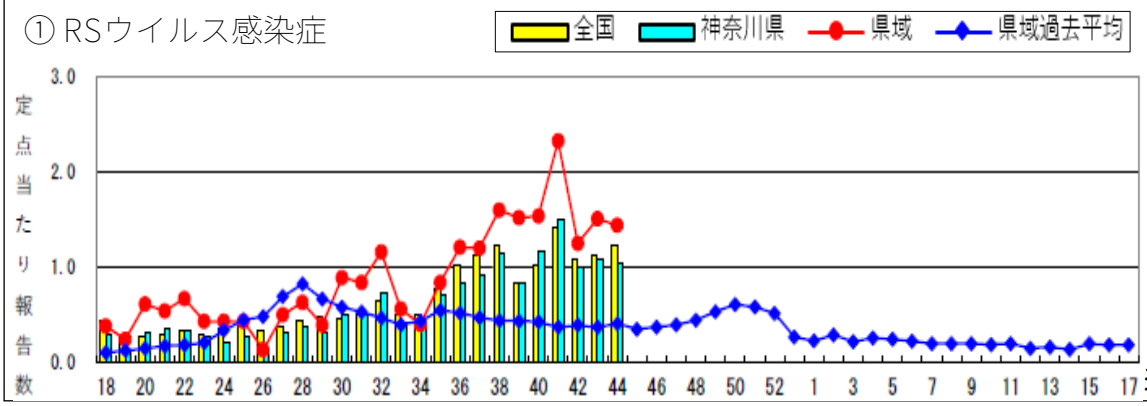
令和８年11月号

神奈川県および国内外で
気になる感染症を掲載しています。

＊県域とは、神奈川県内の市町村のうち横浜市、川崎市、相模原市を除いた地域です。

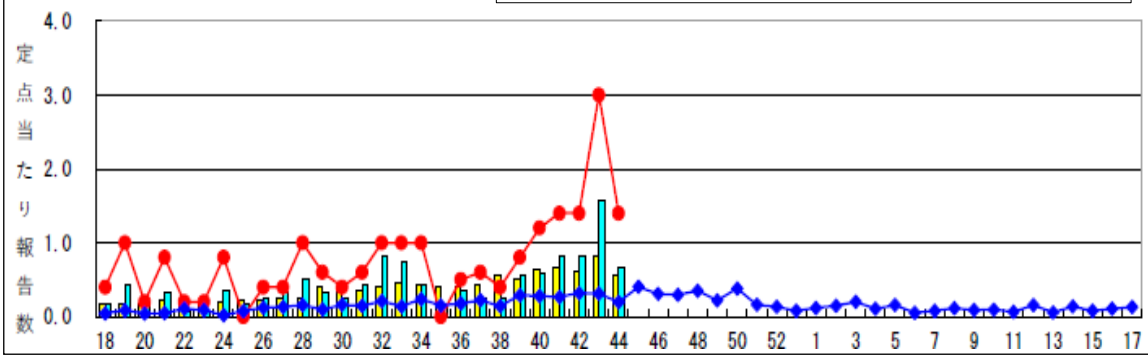
★10月の注目感染症

①RSウイルス感染症



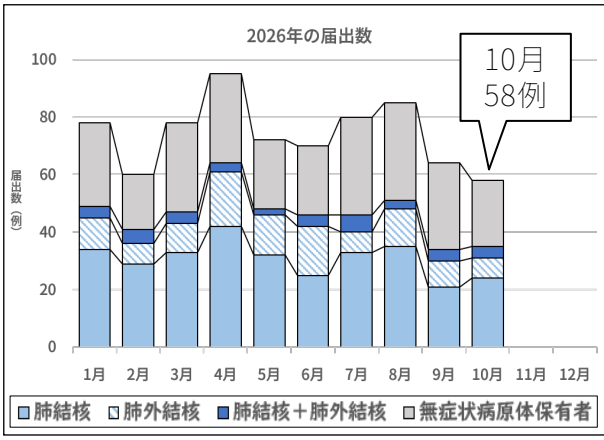
10月は１歳を中心に報告がありました。
第44週での定点当たり報告数は、
全国　1.24
全県　1.04
県域　1.44
でした。

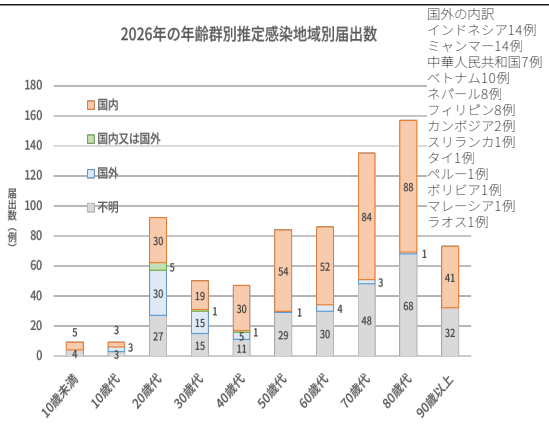
②マイコプラズマ肺炎



10月は若年層を中心に報告がありました。
第44週での定点当たり報告数は、
全国　0.56
全県　0.67
県域　1.40
でした。

★結核の発生動向（11月１日時点）





10月の届出数は58例でした。
2026年の累計患者数は742例となりました。（疑似症患者２例を含みます。）



衛生博士

★国内・海外で気になる感染症をご紹介します

・国立健康危機管理研究機構国立感染症研究所は、2026年夏季におけるインフルエンザの流行入りとインフルエンザウイルスについて速報を発表した。今夏の流行はA(H1N1)pdm09ウイルスによるものだが、本亜型による前回の大きな流行は2シーズン前の2024/25シーズンであったことや、2026/27シーズンのワクチン接種前であったことから、ウイルスに対する免疫が十分でない人が一定程度存在し、さらに、抗原性に変化をともなう変異ウイルスが出現したことが、この時期の流行に影響した可能性が考えられるとした。今後A(H1N1)pdm09亜型ウイルスが収まった後に、A(H3N2)亜型ウイルスやB/Victoria系統ウイルスが増加する可能性もあるとしている。(JIHS感染症情報提供サイト　2026年11月２日アクセス)

・フランス保健当局は、免疫機能が著しく低下した患者からシャモンダウイルス（Shamonda virus）が検出されたと報告した。当該患者は10月初旬に亡くなった。シャモンダウイルスは、ヌカカ属のヌカカを介して動物に伝播するオルソブニヤウイルスである。1960年代半ばにナイジェリアで初めて検出されて以来、西アフリカ、東アフリカ、南部アフリカ、そして日本において、牛の間で散発的に報告されてきた。ヒトから同ウイルスの検出が確認・報告されたのは初となる。現在、One Healthアプローチに基づき、臨床的、生物学的、および疫学的な調査が進められている。現時点で、一般市民に対する健康上のリスクは確認されていない。(フランス農業・食料・食料主権省公式ウェブサイト　2026年11月２日アクセス)



衛生ちゃん

神奈川県衛生研究所 感染症情報センター が作成しました。
お問合せはこちらまで↓↓
TEL:0467-83-4400(代表)　FAX:0467-89-5211(企画情報部)

感染症情報センターHP